

カトリック精神に貫かれた教育方針のもと、教育がなされています。子どもの自発性を促し、過干渉になりすぎず、園児の可能性を引き出す努力をされています。モンテッソーリ教育についても日々勉強会を行い、努力されている様子がわかります。モンテッソーリ教師の資格取得についても引き続きがんばってほしい。

全教職員の方々は常に相談し、園児一人ひとりの成長に目を向け対応してもらえます。特に、クラス担任が2名とその他の先生も子どもたちをよくみてくださる。また、施設は清潔に保たれ、子どもたちが健康で安全に過ごせるよう環境整備を行っておられます。

日常は、メールは配信やホームページで、子どもの様子、お知らせ等が速やかに行われ、満足しています。また保護者からの意見や要望に常に真摯に向き合っていただきとても丁寧な態度で接して下さる。

勤労感謝の施設訪問やディサービスセンターの訪問などを行い、地域社会とのつながりを大切にされています。また、園庭には季節を感じる花々が常にあり自然に触れる機会がありますが、もう少し地域の自然を感じる行事があればいいかと思えます。

(千里川で遊ぶ、箕面の山に散策等)

子育て支援としての預かり保育も、就労者のニーズに対応し、利用しやすい制度に改善され助かっています。

すべての教職員がいつもおだやかで、親子が安心感を感じ、おだやかな気持ちになれる素敵な幼稚園だと思います。

何事も常によりよい方向へ改善され、子ども達のためにがんばっておられます。

- ◎ 園の教育理念や方針を理解し、保育計画のもと子どもたちの実態にあわせて環境を整え、保育を行っている。また、保育活動や指導がマンネリにならないように、研修会や勉強会へ積極的に参加し、日々の保育を充実させたい。
- ◎ 常に子どもたちの事故防止に努め、子どもたち自身が危険を察知し回避できるように指導を続けているが、まだまだ危険を判断できない子どもがいる。職員全体で危険箇所を確認し、引き続き指導を続けていく。
- ◎ 教師としての資質や知識を向上させるため、園外における研修会に参加し、お互いに学んだことを共有し、日々の保育に生かしている。
- ◎ 保護者への対応、相談などにも丁寧にかかわり、教職員が協力し、支援できるように努めている。
- ◎ 今後の課題としてあげられること
 - ・お互いのクラスを行き来し、お互いの保育について考える機会が持てなかったので、その機会を充実させたい。
 - ・地域との関わり、自然環境との関わりがまだまだ不十分なので、保育計画に取り入れ関わりを持つよう努力する、
 - ・会議や研修等で自分の意見を発言することに、まだまだ自信が持てない者がいる。課題を前もって教え、意見を考えて会議に臨むようにする。
 - ・子ども個々との関わりを深め、日々の記録を取る。そのことを踏まえ保護者への丁寧な対応を充実させたい。

園長コメント

今日の社会情勢のめまぐるしい変化の中でも、キリスト教に根ざした保育を変わずに行っていきたいと考える。教職員は常に、積極的に学び、話し合い、プランを作り、各自が努力して保育にあたっているが、自己評価の結果で、保育がマンネリ化しないように課題を考え改善していく。

また、本園の特色であるモンテッソーリ教育を充実させるべく、今年度は資格取得コースの参加を含め、引き続き園内外の研修に力を入れていきたい。
次年度の幼稚園指導要領の改訂に向けて、カリキュラム等の編成についても学習する。